


こくぶんじ しろばら



第70号・平成23年2月発行
 国分寺市明るい選挙推進協議会
 国分寺市選挙管理委員会
 〒185-8501 国分寺市戸倉一丁目6番地1
 TEL:042(325)0111 内線:367・368
<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp>

国分寺市選挙人名簿登録者数
 男 47,966人
 女 49,162人
 計 97,128人

}平成22年
12月2日
現在

平成22年度明るい選挙
 啓発ポスターコンクール
 応募総数
 国分寺市： 815点
 東京都：17,621点



国分寺市最優秀賞
 第九小学校2年
 土屋 和葉



国分寺市最優秀賞
 第一中学校1年
 池田 哲彦



国分寺市優秀賞・東京都優秀賞
 第二小学校5年
 粕谷 朱里



国分寺市最優秀賞
 早稲田実業学校高等部2年
 小出 芙優子

(順不同・敬称略)

国分寺市選挙管理委員会
 委員長 萩田 定央

おかげさまで明るい選挙啓発紙「こくぶんじ
 しろばら」が第70号の発行を迎えることができました。保存されていた第1号を見ますと、昭和50年の発行でした。B4版の紙面には「衆議院の東京7区の定員が4人に」「有権者数が55,858人」とありました。各号には有識者の主張や新成人の感激や投票立会人の感想など多数の方の寄稿、また子どもたちの啓発ポスターなどが掲載され、皆様に支えられての35年であったとの想いを新たにいたしました。

国分寺市明るい選挙推進協議会のメンバーはわずか26人ですが、選挙時の啓発活動、講演会の開催、国分寺まつりや新緑まつりへの参加、小・中・高等学校への啓発ポスター応募依頼等、多岐にわたる活動を展開しています。

選挙管理委員会としては、公正な選挙の執行、有権者の利便性に配慮した投票所の設置、開票時間の短縮、執行経費の見直し等に努めております。また前回（平成22年執行・参議院議員選挙）から期日前投票所を本町・南町地域センターに増設いたしました。

4月には東京都知事選挙と国分寺市議会議員選挙が執行されます。いずれも身近で大事な選挙ですので棄権することなく投票をお願いいたします。

“若者との意見交換会”をおこないました！

本年度は初めて、明るい選挙推進委員・選管管理委員と若者との意見交換会を実施しました。当日は、東京経済大学の地域貢献授業で、明るい選挙推進活動に参加している佐藤智織さん(2年生)と、松永匡平さん(3年生)、木綿和人さん(3年生)、また事務局新人職員の清水眞さんを交えてのグループ討議を経て、全体での意見交換をおこないました。ここに討論の一部をご紹介します。



若者はいま、何を思っているのか？

- ④就職ができるか、就職してやっていけるか、お金が貯まらないから結婚も出来ないのではないかと、不安は絶大！
- ④大学の授業料を安くしてほしい
- ④働き盛りの人も仕事に就けないということで、すごく不安！生活の基盤をしっかりとさせて、希望のもてる政策をしてほしい
- ④中学・高校の授業で、選挙や政治に関して踏み込んで教えていない
- ④大学の自治会活動はほとんど知らない
- ④身近な不満ということでは、道路工事など無駄なことが多い気がする
- ④自分の周りでは、きちんと新聞を読んで誰に投票するか決めたりしている
- ④政治について語ることがかっこ悪いと思っている人はあまりいない
- ④自分のことで精一杯なので、このように「社会を変えるのは選挙なのだ」という話を聞く機会がもっとあればいい

若者は何故投票に行かないのか？

- ④自分に影響はないと思っているので、一票入れても変わらない
- ④一票の重みと言われても、びんとこない
- ④政治に対して実感がわからないので関心もない
- ④誰を選んで良いかわからない(政治が充実していないと思う)
- ④学生時代は就活、ゼミ、バイトなどで忙しく、社会に出ると生活に余裕がなく、投票に行けない



推進委員・選管委員からは！

- 60 自分達の世代は、戦争があり、戦後も貧しかったので、政治に無関心ではいらなかった
- 60 現在の日本は平和で豊かなので、満たされていて危機感がない
- 60 若者の中には、投票を義務とは思わず、行かないのも自由という考え方を持っている人もいる
- 60 家で大人が新聞を読み、ニュースを見て政治について話しているだろうか
- 60 若いころは就職難だったので、常に社会や政治に関心があつた
- 60 若者も、社会に出て家庭を持てば、政治や選挙に関心を持ち始めるのではないか
- 60 若者の希望がもてる政策をもっと政府がおこなうべき
- 60 若者の投票率が低いのは、大人の責任でもある
- 60 未来を担う子どもたちが、平和で豊かにくらす社会であってほしい

投票率を上げるためにどうしたらいいか？

- ◆ 学校での教育や模擬投票など、選挙に関する授業を充実していく
- ◆ 子どもの頃から興味を持つよう、家庭での働きかけが大事
- ◆ 啓発が行き届いていないので、若者の集まる場所へ出向き、選挙啓発をおこなう
- ◆ 期日前投票や不在者投票の周知をおこなう、具体的な方法に関して「お知らせ」を徹底する
- ◆ 投票所の利便性をあげる
- ◆ 若者も、社会に対して不安や不満があれば先輩や大人にどんどん話してほしい
- ◆ 若者と年長者が互いの考えを伝えあう、このような話し合いの機会が有意義
- ◆ 投票には人生にとって大きな意味があることを伝えていく

若者が遭遇している現実を厳しい。企業のあり方、正社員抑制の方向など、一社会人として自立し、生活の基盤が持てるのかという不安な声に、政治の対応が求められる。若者が人生の幸せの追求とともに国のゆくえんにかかわる主権者として政治に関心を持って生きていくってほしい。私たちも本質を見究め政治への見識を高め、意思が反映できるよう行動していきたい。

今回の若者との話し合いを通し若者の政治への関心、投票率の低さというのは若者だけの責任だろうかと自問させられた。私たちは家庭で学校で社会で、日本の歩んできた道を伝えてきただろうか。この国の主権者であることを教育してきただろうか。

今までの話し合い活動では、行政の実際を学びながら、政治への目をみがきあつてきた。貧しさを知る世代として歴史の変化を肌で感じ、政治が私たちを守るセーフティネットであると信じている。そんな中で若年層の低投票率は懸念される課題である。

若者が遭遇している現実を厳しい。企業のあり方、正社員抑制の方向など、一社会人として自立し、生活の基盤が持てるのかという不安な声に、政治の対応が求められる。若者が人生の幸せの追求とともに国のゆくえんにかかわる主権者として政治に関心を持って生きていくってほしい。私たちも本質を見究め政治への見識を高め、意思が反映できるよう行動していきたい。



特集 話しあい活動

テーマ 選挙と投票行動

若者の投票率が低いのは何故か？
投票率を上げるにはどうしたらいいか？

若い世代との討論

話しあい指導員 千葉 ヨシ子

選挙啓発活動に参加して

東京経済大学2年 佐藤 智織

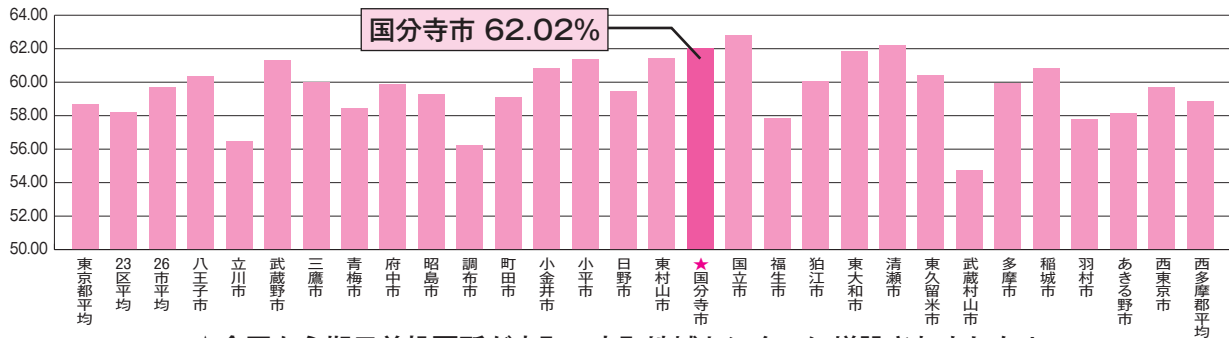
私は今回、明るい選挙推進協議会の活動に参加しました。きっかけは大学の地域貢献という形でしたが、私も有権者になる年だったため「選挙」への関心・意識を高めたいとの思いで参加させていただきました。特に話しあい活動では、貴重な体験ができました。

普段の生活の中では、年齢の異なる方々と話をする機会がいまばかりか「選挙」にスポットを当てた話をするともありません。本来、「選挙」とは私たちの生活に直結した、私たちと関わりが大きく、身近なものであるはずですが、しかし近年の投票率から見ても、私たちの関心は政治に向いていない傾向にあることが明らかです。私自身も、こうした機会がなければ「選挙」がどれだけ重要であり、より深く考える必要性を感じることもなかったと思います。

「選挙」への参加の呼びかけは、とても地道なものです。実際、私自身も選挙啓発活動に参加してみたいとは思っていましたが、一つ一つの活動の意義が果たしてあるのかということ、しかし、話しあい活動の中で選挙の投票率低下の問題を、根本的に考えたことで、問題の重大さと解決の困難さを感じました。社会の現状を根本から変えていくには、まず国民一人一人が、自分の生活やこれからの社会について、しっかりと考えられるようにならなくてはいけないのだと実感しました。社会に自分の声を発信する力として「選挙」への参加が重要になると思います。選挙を身近にするのも、学校や家庭といった教育環境を整えるのも、全てはまず「自分」が考え行動することから始まるのだと思いました。活動を通して、自分自身の意識を高めると同時に、行動しなければいけないのだ、という思いに変わりました。

平成22年7月11日執行 参議院（東京都選出）議員選挙の投票率比較と国分寺市の無効票

※東京都（町村・島部除く）の中で1位は、文京区（64.25%）、国分寺市は6位、26市中では3位でした。



★今回から期日前投票所が本町・南町地域センターに増設されました！

「せっかくの一票が無効票になることがあります！」 このような事例は無効票になります。

★○○○○ さんへ

★候補者名以外の氏名を記入した場合

★二人以上の氏名を記入した場合

★○○○○ がんばれ！

★候補者名以外の事項を記入した場合

★候補者名を確認できない場合 など

※国分寺市の参議院（東京都選出）議員選挙における無効投票数は、総投票数の1.78%で1,072票（内：白紙投票は520票）でした。

平成23年は、次の選挙があります。

東京都知事選挙（4月10日） 国分寺市議会議員選挙（4月24日） 大事な投票、忘れずに！

編集後記

舵取りの難しい日本の船は、どこをどのようには進むのでしょうか。少しでも光の見える方向への気持ちを込め、今年の大事な選挙も棄権する事なく投票所へ足を運びたいものです。

しろばら70号をお届け致します。素晴らしいポスター作品をじっくり御覧下さい。

月日	事業名
5/14~16	新緑まつり参加
6/25~7/10	参議院議員選挙時啓発
9/16	ポスター審査会
9/15・H23/2/15	しろばら発行(69・70号)
9/29	講演会(森田実氏)
10/27	話しあい活動
11/7	国分寺まつり参加
11/15	甲府市の視察研修会受入
11/19	日帰り研修
H23/1/10	成人式啓発

平成22年度 啓発事業一覧

平成22年度 明るい選挙啓発ポスターコンクール 国分寺市優秀賞・東京都入選作品

国分寺市優秀賞・東京都入選作品



第八小学校6年 桑野 和奏



第八小学校6年 早川 千穂



第三中学校2年 勝又 野々香

《応募数と審査結果》 総数815名 (小学生349名 中学生461名 高校生5名) 国分寺市最優秀賞 小学生1名 中学生1名 高校生1名 国分寺市優秀賞 小学生17名 中学生23名 高校生1名 東京都優秀賞 小学生1名 東京都入選 小学生2名 中学生1名

♡たくさんのご応募ありがとうございました。



(順不同・敬称略)



早稲田実業学校 高等部1年 吉川 千晴

国分寺市優秀賞



第一小学校3年 渡邊 菜友



早稲田実業学校 初等部4年 石山 諒太郎



第二小学校5年 堤 奈々美



第七小学校5年 黒須 奏帆



第四小学校6年 松澤 桃子



第四小学校6年 山本 可奈子



第四小学校6年 吉野 優生



第五小学校6年 栗林 愛菜



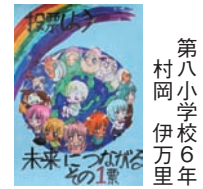
第五小学校6年 牧野 奈南子



第七小学校6年 一関 ルナ



第八小学校6年 早川 美穂



第八小学校6年 村岡 伊万里



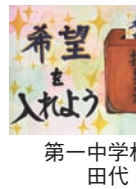
第九小学校6年 矢野 傑



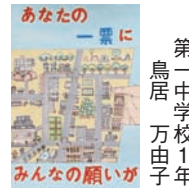
第九小学校6年 鈴木 颯人



第一中学校1年 加藤 理奈



第一中学校1年 田代 幸恵



第一中学校1年 鳥居 万由子



第一中学校1年 杉本 圭将



第二中学校1年 秦 東益



第三中学校1年 上半 雛代



第二中学校2年 上田 庸市



第二中学校2年 加納 春菜



第二中学校2年 鈴木 涼花



第三中学校2年 竹尾 華



第三中学校2年 長澤 成実



第三中学校2年 長谷川 萌



第三中学校2年 矢舗 礼子



第三中学校2年 山田 風



第三中学校2年 伊藤 多紀



第三中学校2年 一ノ瀬 樹



第三中学校2年 亀田 真奈



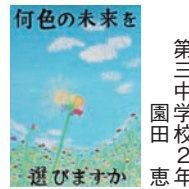
第三中学校2年 下川 凌平



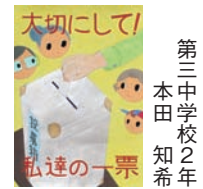
第三中学校2年 國近 暉



第三中学校2年 熊坂 美友



第三中学校2年 園田 恵



第三中学校2年 本田 知希